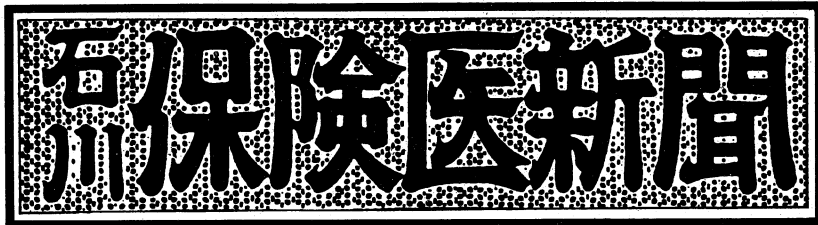


主な記事

- 2面 訪問歯科特集
- 3面 保団連第35回定期総会
- 4面 福祉マップ編集始まる
- 5面 障害を持つ人たちの施設  
——アカシアの里——
- 7面 お訪ねします  
——杉原 信先生——



発行所  
石川県保険医協会  
〒920 金沢市尾張町1丁目9番11号  
尾張町レジデンス2F  
電話 (0762) 22-5373番  
FAX (0762) 31-5156番  
発行人 高松 弘明  
印刷所 ソノダ印刷株式会社  
購読料 1年間 5,000円(〒共)  
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

# 第23回定期総会

## ご案内

とき 3月1日(土) 午後5時~8時  
ところ 金沢都ホテル5階

### ■記念講演(5時~6時半)

テーマ エイズの診療

講師 石川県立中央病院診療部長 河村 洋一 先生

### ■定期総会(6時半~8時)

- ① 1996年度活動報告
- ② 1997年度活動方針案
- ③ 1996年度決算報告
- ④ 1997年度予算案
- ⑤ 役員改選
- ⑥ 総会アピール

○総会出席者には軽食を準備します。

## 役員改選についてご意見を

石川県保険医協会第23回定期総会において役員の改選が行われます。このため、役員候補者選考委員会をつくり、選考の任にあたることを決められました。

つきましては、会員の皆様のご意見を広く募り、選考に反映させていきたいと思いますので、ご協力いただきますようお願い致します。自薦他薦、その他役員の選考についてどしどしご意見をお寄せ下さい。2月末日までに文書にて協会事務局までご提出下さい。

1997年2月5日

役員候補者選考委員会

今国会の会期は六月十八日まで。厚生省の予算関連法案は健康保険法等一部改正案、児童福祉法一部改正案等、四法案であり、一九九七年度政府予算案が成立した後、四月に医療保険「改革」法案の審議、五月に介護保険法案・医療法改正

患者さんに改悪の内容を知らせ、反対世論を高めるため、会員各位の一層のご協力をお願いしたい。

患者・国民・医療機関に大幅な負担増をもたらす政府の医療保険「改革」案を阻止するために、また、次に企図されている六つの制度改悪を阻止するためにも、国民世論と運動とを急速に強化することが求められている。

患者さん、現在までに保団連が集めた署名は百五十万人を超えており、県内でも石川県医師会が三万四千人、保険医協会が三万八千人、社会保障推進協議会が二万人近くを集めている。

OD Aなど海外に税金垂れ流し、対外借款援助の大盤振る舞いなど、アメリカの肩代わりはいよいよ加減にしろ！

# 医療保険と医療供給の両面で医療費の削減をねらう厚生省

## 今年度は第一段階

第百四十回通常国会が一月二十日に開会した。橋本総理は施政方針演説で、「社会保障構造改革」の一環として、介護保険法案の「今国会における成立に全力を尽くす」と述べるとともに、医療制度「改革」については、「今国会に提出する法案を出発点として、医療の提供体制と保険制度全般にわたる総合的な改革を行う」と述べた。

このように政府の企図する医療制度「改革」は、患者負担の大幅拡大(表1)だけでなく、医療供給体制の両面にわたる三段階の改革メニュー(表2)が検討されている。

一月十日の医療保険審議会に小泉厚生大臣が諮問した「平成九年度において検討又は改正すべき事項」には次の六点が明示され、本

(表1) これが政府の改悪案

老人	[入院] 710円/日 → 1日当り定額負担 1,000円/日 (低所得の老人は1日500円) [外来] 1,020円/日 → 1日当り定額負担 500円/日 (月4回、2,000円を上限) *定額は、医療費の伸びにスライド。 *総合病院(100床以上、5診療科以上)は、1診療科ごとにカウント。
健保本人	1割→2割
薬剤	老人、健保本人・家族、国保の外来患者は、別に薬剤1種類につき1日15円負担

(表2) 3段階の改革メニュー

●第1段階	給付の重点化・給付と負担の公平確保及び医療提供体制の見直しへの着手 (5年以内をメドに改革 1997年~2001年)
●第2段階	医療供給体制の抜本的見直しと保険者の自立性の強化 (10年以内をメドに改革 2000年前後~)
●第3段階	保険制度の枠組みの見直しの完了、総医療費の伸びの安定化 (15年をメドに改革 ~2010年)

## 医心凡語

バブルがはじけて、株価は暴落、日本経済は今やどん底。アメリカは上昇するも日本の不景気風は治らない。政府は四百兆円もの財政赤字を抱えて四苦八苦。国民も働き蜂の時代が終わって、ついに世界屈指の赤字大国に転落。大蔵省も銀行も政治家も官僚も教育者も、日本中が急にながたつき出し、怪しくなってきた。政党政治は無為無策、汚職、金権まみれ。公私混同、収賄破廉恥は日常茶飯事、大蔵官僚の無節操天下り。大手銀行は不良債権に沈み、教育界は「いじめ」に目覚まさず、厚生省は薬害エイズで金儲け。地方政庁はカラ出張とカラ雇用が五十八億円で腹膨れ、国民は腹が立つ。おまけに医療保険改悪も企図される始末だ。

ローマ帝国は梅毒と奴隷制度で滅びた。日本は前車の轍(てつ)を踏むように、エイズと金まみれで第二のローマたらんとするか。日本人は3Kを嫌い、よその国に奴隷代行をさせようとするのは亡国の兆し。

OD Aなど海外に税金垂れ流し、対外借款援助の大盤振る舞いなど、アメリカの肩代わりはいよいよ加減にしろ！

ままよ正月、やけ酒あれば、折しもロシアから早々と、お年玉ならぬ大量の石油玉のプレゼント。エリツインもさる者、快気祝いか？でも日本は油地獄！



奈良県保険医協会歯科部会長の  
馬場 淳先生

# 訪問歯科 講演会

## 歯科、医科、コ・メディカルら40人が集い 訪問歯科の実際を学ぶ。

昨年末の十二月一日、午前十時から二時間半にわたって、金沢都ホテルで訪問歯科講演会が開かれました。講師に奈良県保険医協会の歯科部会長、馬場淳先生をお招きし、先生の訪問歯科診療の実際をお話しいただきました。

この講演会には歯科医師、歯科衛生士、内科医師、訪問看護婦、施設職員、保健婦ら四十人が参加し、在宅寝たきり患者や施設入所者の歯科医療を進めていくための連携づくりという観点からも、よい機会になりました。

保険医協会では、今後も積極的にこの訪問歯科診療を定着させていく考えで、登録歯科医とニーズの掘り起こしに取り組んでいます。

この講演会に出席した喜多理事（野々市町・内科）が、医科の立場からコメントを寄せられたので紹介します。

また、積極的に訪問歯科診療を実践している浦崎先生（金沢市・歯科）からの実践紹介、さらに「呆け老人をかかえる石川家族の会」会報に掲載された紹介記事も合わせて掲載します。

### 訪問歯科講演会に参加して 医科の立場から

まず、歯科でこのような訪問歯科に情熱を傾けておられる先生がおられること自体が驚きであり、敬服した。

馬場先生は、脳性小児麻痺、口も満足に開けられない重度のリウマチなど重症でリスクの高い患者さんにも勇猛果敢に治療しておられるが、一般的な歯科医にはちょっと無理ではないかと思った。それでも病状が安定した患者の場合、かなりの歯科治療が在宅でもできることがよく分かった。

馬場先生は講演の後半

## 患者の口腔ケアを 医科・歯科一体で

喜多 徹（野々市町・内科）

で、口腔内の衛生と肺炎の関係を述べられた。近年の死亡統計においても、肺炎で死亡する方が大変増えていくようである。その対策が重要になってくることを認識した。

今回の講演会は医科側の出席が少なく、それは、まだ口腔内ケアの重要性が医科では関心が薄いことの証であろう。血圧の

コントロールや褥創の防止、在宅リハビリなどと並んで、口腔内の衛生管理を在宅医療の重要なチェック項目にしなければならぬと思った。

今後も保険医協会の特色である医科歯科一体の団体として、この口腔内ケアの重要性を、医科歯科全会員に訴えていきたい。

### 訪問歯科診療体験記

## 必要性を実感 今後もぜひ続けたい

浦崎 裕之（金沢市・歯科）

初診時に口腔内の診査を行い、残存乳歯の状況などを把握しました。幸い、口腔衛生状態は良好で、カリエスの心配はなく、今後は乳歯の管理及びブラークコントロールに注意していけばよい旨を説明しました。

これまで歯科的な指導は、入院中に看護婦より受けたのみでしたので、今後は歯科衛生士による訪問指導を含め、訪問診療を続けていくことになりました。

患者さんには小児科医、在宅にて可能なことは

診療は依頼しにくい」「わざわざ来てもらうのは申し訳ない」「がまんしなくてはいけないこと」と、おっしゃっていました。「歯科的なことも、在宅にて可能なことは、在宅医療は決して特殊なものではなく、いろいろな意味でまさしく自分自身の実力が問われるものだと思います。今後もぜひ続けていきたいと考えております。

私自身も、在宅医療を行う必要性、社会的意義は感じていましたが、現状の診療体制を変えるのは難しく、今回、ネットワークの発足によって実現することができ、保険医協会の関係者の方々に感謝しております。

本来は、在宅医療を受けざるを得なくなった時点で、必要な医療を患者側が気軽に依頼したり、医療側から積極的に提供したりするのが理想だと思いますが、残念ながら現在は、本当の弱者に暖かい成熟した社会ではないと思います。

## 歯科往診について

中野 玲子

老人保健施設に入所している姑が下の入れ歯を紛失したのに気づいたのは、9月4日に会いに行った日、入浴後に姑の顔を見た時でした。職員さんにすぐに話したところ、捜しておきますという返事で2週間余り過ぎました。（その間何度も聞きましたが、あちこち捜しているけれどまだ出てこないで、もう少し待って下さいとのことでした。）

9月26日頃でしたか、家族の会事務局に相談したところ保険医協会へ連絡をとって下さり、そこからすぐに薄井歯科を紹介して頂きました。

薄井先生は入所施設へ出向いて、9月30日・10月1日と入れ歯の型をとり、10月11日には入れ歯ができ、名前も書いてもらいました。

保険医協会や歯科医師の対応の速さに感謝しています。大変お世話になり、歯科往診の有難さを痛感いたしました。

■歯科往診を希望される方は、石川県保険医協会にお問い合わせ下さい。

石川県保険医協会 ☎22-5373

■口腔衛生に関することは、お近くの保健所へお問い合わせ下さい。

保健婦と歯科衛生士と一緒に訪問指導して下さいます。

口のケアによって、口臭や入れ歯の不適合が減り、介護者との関係がよくなるなど、さまざまな効果が上がっています。どうぞ、ご利用ください。

黒1が好手でコウになります。黒1で3と一目を取ると白1と粘られて手になりません。

囲碁  
解  
答  
(問題は8頁)

# 医療保険の改悪“阻止”

## 保団連第35回定期総会で 決意新たに!

### 命と健康を守るため 敢然と立ち上がる

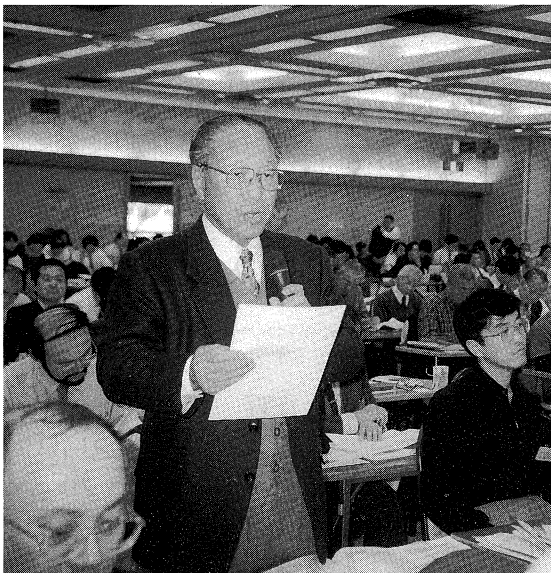
会長 高松 弘明

一月二十五、二十六日の二日間、東京は晴海にあるホテル浦島で、恒例の保団連総会が開催された。石川協会からは、歯科の梶先生、杉野事務局長と高松が出席。全国の協会代表、役員、事務局員ら総勢三百九人が参加し、会場は例年以上の熱気に包まれた。

堀協会長のあいさつ、一九九六年度活動のまとめ、一九九七年度の活動方針案が提出され、会員拡大、年間組織率での一位から三位までの協会が表彰された。



309人が集まって開かれた保団連第35回定期総会



発言に立つ高松会長

### 消費税アップ阻止と 歯科の活動の充実を

総会代表 梶 善博(津幡町・歯科)

定期総会に出席し、歯科の立場から二、三感想を述べたいと思います。

まず、消費税アップの問題

定期総会に出席し、歯科の立場から二、三感想を述べたいと思います。

まず、消費税アップの問題

定期総会に出席し、歯科の立場から二、三感想を述べたいと思います。

まず、消費税アップの問題

核戦争を防止する石川医師の会・第10回総会  
《公開講演》

## 20世紀の日本

～自由・民主主義・人権を考える～

◇とき 3月9日(日) 午前10時半～12時半  
◇ところ 金沢都ホテル5階  
◇講師 前長崎市長 本島 等氏  
◇主催 核戦争を防止する石川医師の会  
(連絡先) 松任市乙丸町249 登谷医院気付  
☎ 0762-75-0575番

参加費は無料です。お気軽にご参加ください。

定期総会に出席し、歯科の立場から二、三感想を述べたいと思います。

まず、消費税アップの問題

定期総会に出席し、歯科の立場から二、三感想を述べたいと思います。

まず、消費税アップの問題

このコーナーの原稿を募集しています

ちっぽち聞いて (その24)

## ドライアイ

なぜこんなに多いの?

倉知 裕(金沢市・眼科)

「上まぶたの裏に何かある」などの訴えが多いようです。原因の多くは、老化による涙腺の萎縮の場合がほとんどですが、中には消炎鎮痛剤や睡眠導入剤、精神安定剤などの長期服用も症状を増長させる原因になっているものもあります。

現在、原因の基礎研究や新薬の開発も盛んで、最近ようやく参天製薬からヒアルロン酸ナトリウム、防腐剤入り、防腐剤抜き、それぞれの点眼薬が発売になりました。しかし、おかしなことに薬品説明書の適応疾患にはドライアイが明記されているのですが、保険ではシーグレン症候群とステイブン・ジョンソン痛のみに適応が限定されているのです。

一日も早くこの薬がドライアイにも保険適応になることが望まれます。

〇〇〇〇日常診療におけるあんなこと・こんなこと〇〇〇〇

# 福祉マップ(改訂4版)編集始まる

## 開業医に不可欠な保健・福祉の知識

福祉マップ編集長 喜多 徹 (野々市町・内科)



改訂4版発行のための福祉マップ編集会議

公的介護保険の創設や医療保険の大改悪など、医療・福祉の分野においても厳しさを予感させる年ですが、『病院マップ』と並ぶ当協会の代表的出版物であり、また『福祉マップ』も一九九三年十月に第三版を出して、はや三年余りの月日が経ちました。

そこで、このたび『福祉マップ改訂第四版』の発刊を計画し、今年八月を目標に編集作業を開始いたしました。

三年間の間に、高齢者保健福祉計画が全市町村で立案され、現在は進行中でありますが、進行状況には、市町村によりかなり格差が出てきていると思われ、その状況を把握し、問題点を指摘することは意義があると思います。

また保険医協会では、三年ほど前から高齢者福祉以外の障害児、若年障害者の福祉の問題にも積極的にアプローチし、福祉施設の見学会や、県内福祉施設の訪問記事を『石川保険医新聞』にシリーズで掲載して、福祉の問題に関して幅広く会員の皆様に関心を持っていただけるよう活動してきました。このような高齢者以外の福祉制度の紹介や解説にもページを割きたいと考えています。

今回のマップ作成にあたっては、監修者には金沢大学経済学部の横山寿一教授をお願いし、さらに福祉公社の職員、保健所の保健婦、老人保健施設相談指導員、病院MSWなど、医療、保健、福祉の第一線の現場で活躍しておられる方々を編集担当者としてお迎えしました。

医療保険、介護保険に加え、保健所の再編成など、制度改革のまっただ中の『福祉マップ』改訂版の発行ですが、現状をしっかりと把握し、あるべき方向性をこの時期に提言することは意義のあることと思います。もちろん『福祉マップ』は将来にわたって改訂していくつもりです。

医療、保健、福祉の境界があいまいになり、開業医も福祉や保健の知識がなくては、仕事ができない状況になりつつあります。どうぞ、『福祉マップ改訂第四版』にご期待ください。

また、同マップについてのご意見や、こんなことも載せたいなどの具体的な提案がありましたら、ぜひ協会にご連絡ください。

### 北山吉明ドクターの南アフリカ共和国

訪問記 (その7)

## 果てしない草原に一直線に伸びる道路

南アフリカ最大の都市ヨハネスブルクから首都プレトリアへは車で約一時間、距離にすれば五十キロメートルである。国道一号線は片側三車線と幅広く、まるで高速道路のように一直線に伸びている。道の両側は丈の低い草が果てしなく続く草原である。時間が経過しても周りの風景はいつこうにも変わる気配を見せない。わずかに地形がうねった小さい丘が見え、丘の麓には小さな家が散在し、

周辺を畑と思われる耕作地が取り囲んでいる。そんな村が、ちよつと大海の中に点在する島のように時折出現する。われわれはケープタウンから空路でヨハネスブルクに入り、すべさま車に乗り換えて、セミナー会場のあるプレトリアに向かった。

「何かあったのだろうか、車でも故障したのかな?」二人の姿が消えるまで見つめながら、あれやこれやと訳を考えたが分かるはずもない。ところがしばらくして車はまだ一人の男を追い越した。彼は小さな鞆を肩から掛け、うつむき加減に真っ直ぐ前を向いて歩いていた。

そばを通る車には何の関心も払わない。身なりは粗末で、短いズボンから痩せたくろびしが突き出ている。くたびれた大きな黒い靴が印象的だった。たまたま手に運転手に聞いた。

「何ね、旦那、あいつらは田から家に歩いて帰るでさあ」と答えが返ってきた。歩いて帰るなんて、いったい何キロもと想つ

## 「便利」を得るために多くを失った日本人

ヨハネスブルク出発の時に、すでに西の空に傾いていた太陽が車と共に地平線の上を走っていく。ここでは空気が澄んでいて、

驚きとあきれで大きなため息が漏れた。ここでは町と村は少なくとも十キロ、長ければ二十キロはあるだろうに……。

目をつむると、追い越した男のひたむきな表情

が蘇った。歩くことに精魂を傾けた姿だった。それはほくらが遠い昔に見た懐かしい姿に似ていた。それは、遅れまいと必死に歩きながら見上げた父や母の後ろ姿に似ていた。歩いて家に帰ることは僕たち子供には当たり前のことであつた。空を見ながら、風の音や鳥の声を聞きながら、草や花をちぎりながら、足の裏に石の硬さを感じながら歩いた記憶が急に蘇つた。と同時に歩くことがもう僕たちの親しい友人で無くなったという悲しい事実も思い出さないうけにはいかなかつた。歩くスピードでしか見えないもの、聞こえないもの、多くが車に乗ることによって失われた。

便利といふ名のもとに人はなんと多くの生きるための力を失つたことであらうか。

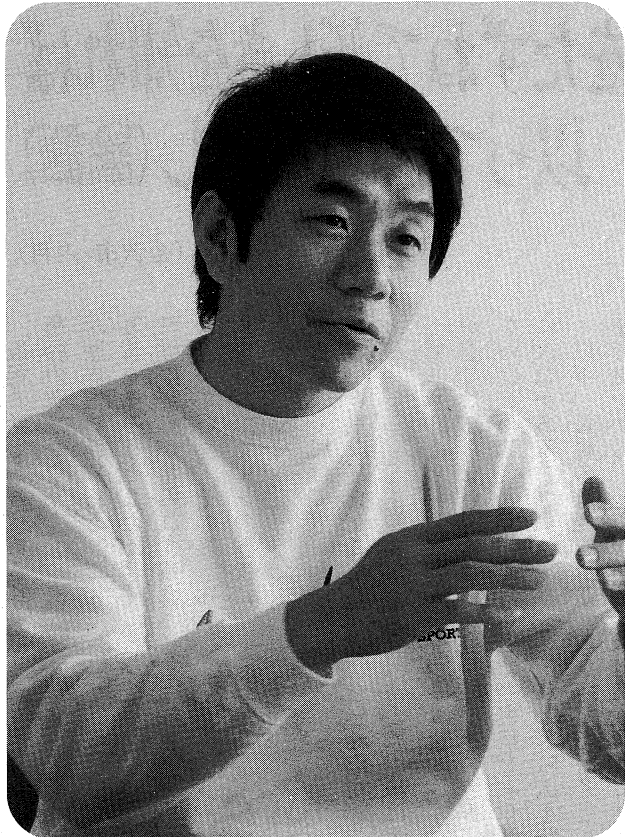
## 何が大切なのがだんだん分かってきた

アフリカの空気を吸いすぎて、僕の心もアフリカ人になりつつあるのだろうか。体を使って生きていくためには何が大切かということが、だんだん分かりはじめてきた。アフリカの自然は人間の心まで変えてしまう力を持っているのだろうか。どうして僕はアフリカ

で来て、こんなに悲しい気持ちにはならな過ぎやいけないのだろうか。あれやこれやの考えが僕の頭の中をよぎっていく。プレトリアが近付いた。地平線に今まさに沈もうとしている大きな太陽を見ながら、この旅で出会った多くの事柄を今一度思い返してみようと思つた。



大海原のような草原を切り裂くように、まっすぐ伸びる道路を車は走る



風邪が蔓延した場合などの通院が大変で、なんとか施設内で受診できるようなシステムができないかと訴える、アカシヤの里指導課長の砂走勇昇氏

# 障害を持つ人たちの施設

シリーズ10

アカシヤの里は、一九八四年八月に知的障害者の自立訓練を目的に、設置主体を県、経営主体を法人とした県下では初めての公立民営の入所更生施設として開所しました。

金沢市の西部、粟崎丘陵地の木工センターの一角に位置し、白山をバックに市内を一望できる環境と、県内唯一の室内温水プールを備えています。

ここでは、自立に向けての生活訓練、職業訓練のほか、プールなどを利用した機能訓練、体力づくりなど、健康面も重視した取り組みも行っています。

## 職員が足りなくて

この中でも、健康管理、とりわけ入所者の病気などに対しては、施設内でいくらか工夫しても「医療機関」の力を借りなければならず、この点については、近所の開業医のほか、多くの病院のお世話になっているのが実状です。

他施設でも同様であるとは思いますが、定期に受診している人はもちろん、そのほかでも身体に何らかの症状が見られた場合には、

定期の通院ばかりではなく、風邪のはやる時期には、

# 石川県立自立訓練センター アカシヤの里

社会福祉法人 アカシヤの里  
金沢市栗崎5丁目3-1 ☎(0762)37-0294

## 県下初の公立民営の入所更生施設

# 自立をめざし健康を重視

アカシヤの里指導課長 砂走 勇昇

## グループホームのバックアップも

アカシヤの里は、一九八四年八月に知的障害者の自立訓練を目的に、設置主体を県、経営主体を法人とした県下では初めての公立民営の入所更生施設として開所しました。

また、昨年度からは毎日の活動の前に、約二十分間の時間を設けて肥満対策、健康管理の一環としてランニング、歩行、リズム体操を楽しんでいます。

また、昨年度からは毎日の活動の前に、約二十分間の時間を設けて肥満対策、健康管理の一環としてランニング、歩行、リズム体操を楽しんでいます。



県内唯一の、施設内にある温水プール

家庭で生活している以上に神経質になりがちです。軽い症状でも、まず受診してみるといったこともあり、通院の回数はかなりなものになってしまいます。ちなみに当施設では、一九九六年四月から十二月末現在の通院延べ回数は、二百五十三回となっており、ほとんど毎日、何らかの形で通院しているということになります。

このような状況をご理解いただき、もし、感染者が出てきた場合には、施設への巡回診療サービスなど、医療機関からの積極的なアプローチを頂けたらありがたいと思います。

## 医療機関の援助をせひ

指導課長の砂走(すなはせ)さんの案内で、地下の温水プールや体育館、作業訓練室などを見せていただきました。一番心に残ったのは、廊下に飾られた鬼の絵で、一枚一枚にそれぞれ独特の表情があつて、しばらく見ると「風邪の流行したときなど、訓練生を連れて連日病院通い、それだけで職員の手が足りずその日の計画が立たなくなってしまう」と、砂走さん。その言葉を協会に持ち帰ると約束して、アカシヤの里を後にしました。(大平政樹/金沢市・外科)

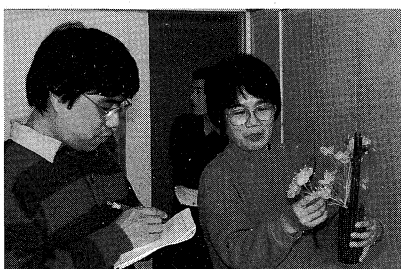
# アカシヤの里 見後学記

## 職員数が足りなくて

久しぶりに雪が積もつた一月末、事務局の杉野さんと金沢市の郊外、粟崎のアカシヤの里を訪れました。

わがクリニックの近くというところで、時々、訓練生の皆さんや職員の方を診察させていただく機会もあるのに、「灯台も暗し」というべきか...、幹線道路からわずかに入った高台に、ほんのり雪化粧した施設を初めて目の当たりにしました。想像したより広く清潔なたたずまいに、なぜかほっとしました。

現場に立っている職員とその上にいる役人、その間にある最大の溝は、生きた人間に対する愛情そのものの差のように感じました。

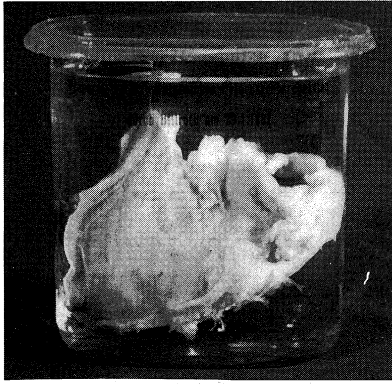


職員の方から、入所者の活動について詳しく説明を受ける大平理事

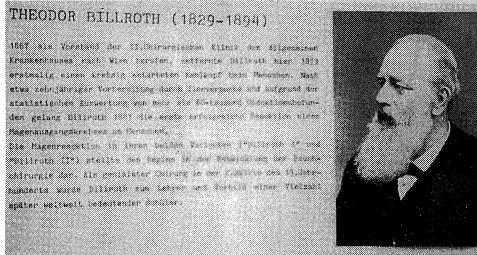
2つのまちがい (7面)

解答

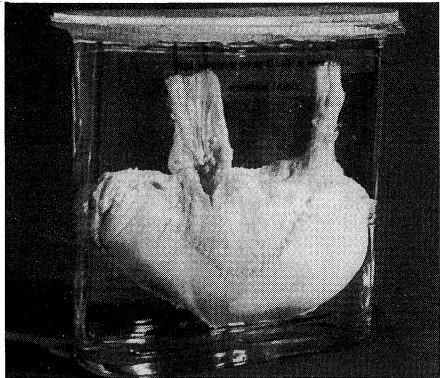
- ① 駅事務室の窓
- ② 時刻表
- ③ キオスクの屋根
- ④ こうもり傘の柄
- ⑤ 左のホームの白線
- ⑥ 右上の枕木
- ⑦ 手押し車の雑誌



3. 1881年1月29日 Billroth によって行われた胃癌手術の摘出標本



2. ウィーン大学医学歴史博物館のBillroth (1829-1894)の解説



4. 3ヵ月後に亡くなった胃癌患者の剖検により得られた、術後標本



栗野先生もかつて入浴した都湯は今も健在

この西洋料亭の裏を抜ける、大ケヤキがシンボルである色街の守護神、神明宮が裏口から入れて、炙り餅が祭礼のお目当て名物であった。お仕事が終わると、毎朝お女郎さんが通った銭湯、都湯は今も繁盛し、そこはかとなく艶脂と脂粉の色香への郷愁が漂う。

一九五六年(昭和三十一年)、赤線地帯の灯火が消えた後、その残照は長く尾を引いた。軍国調華やかなりしころ、遊女に軍帽を奪われ進退窮まった、ほろ苦い思い出など、兵隊の外出日の陰には、営外巡視の憲兵の目が、鋭く光っていたのである。彼女らはそれにもめげず激しく燃えて、毎夜の生活にあえいでいたのである。青樓ラプソデー(狂詩

「おれは河原の枯れすすき、どうせ二人はこの世では、花の咲かない枯れすすき、船頭小唄は一世を風靡(ふうび)し、かくして大正の治世は無風で、不景気で無表情に推移したもので、在位わずか十四年と短く、嵐の前の静けさと東の間の



にし茶屋街の中にある西茶屋資料館を取材する栗野先生と、協会事務局の北川映子さん

その北郭裏側は、一面に田んぼが広がり、鶴来電車的一条の軌道が青田の中を走っていた。青樓で一夜を共にした酔客と遊女が同伴で線路上を漫歩する姿は、さながら竹下夢二描く一幅の絵の中から抜け出した人物の趣であった。「船頭小唄」が口ずさまれたのもこのころであった。それは大正文化の爛熟と頹廢(たいはい)といふとデカダンスの土壤

西郭の門前、浮世と天国の境、江戸吉原のようなの境、江ノ浦(びよ)「こそおはぐる溝(どぶ)」こそないが、見返り柳と、当時としてはハイカラなライスカレーの店、八洲亭とは、花街の明暗と移ろいに、永く深く関わってきたはずである。



「おれは河原の枯れすすき、どうせ二人はこの世では、花の咲かない枯れすすき、船頭小唄は一世を風靡(ふうび)し、かくして大正の治世は無風で、不景気で無表情に推移したもので、在位わずか十四年と短く、嵐の前の静けさと東の間の

会員投稿

古きをたずねて新しきを知れば 以って師たるべし(論語)

浅野 繁尚 (金沢市・内科)

最近の話である。ある耳鼻科の教授がウイーンの医学歴史博物館に行き、この写真を撮ろうとしたが、受付嬢の許可が得られず残念に思っていた。その後、知り合いのウイーンの教授にその話をしたら、帰国の際、飛行場まで届けてもらったという貴重な写真がこれである。

雪を忘れた初春の一日、金沢市の犀川縁に大正デモクラシーとロマンの星影を追って、その色香淡く残る追憶の古里をぶらり訪れた。それは野町広小路の緩い坂を下りて行くと、幻の石坂遊郭検番所に突き当たる

もあって、私の七十年前の少年期の思い出と連らなっていく。昔懐かしい看板を掲げて琴三味線を商った老舗、安田楽器店は、今も健在である。田んぼが広がり、鶴来電車

その北郭裏側は、一面に田んぼが広がり、鶴来電車的一条の軌道が青田の中を走っていた。青樓で一夜を共にした酔客と遊女が同伴で線路上を漫歩する姿は、さながら竹下夢二描く一幅の絵の中から抜け出した人物の趣であった。

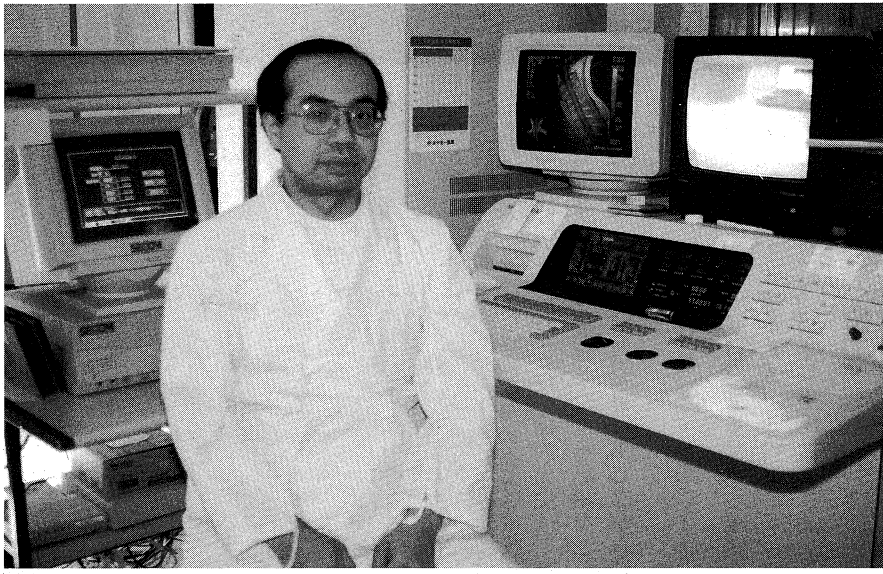
焦点

「特別養護老人ホーム」の建設に、業者と厚生省高級官僚が寄つてたかつて甘い汁をすい、橋本首相らも献金を受けていたとの報道があった。逮捕された「彩(あや)福祉グループ」代表の小山容疑者は、埼玉県の特養ホーム建設で、厚生省の次官や同県に出向の厚生省官僚に賄賂を贈つて、ホーム建設の「補助金」を引き出し、数十億円の利ザヤを稼いでいた。山形県にも進出し、「福祉ビジネス」を広げる一方、同グループ関連の政治団体は、橋本首相ら二十人近い政治家に一九九〇年以來一億円以上の政治献金をしてきたという。

福祉を食う政・官・業

怒りを逆手に「補助金」攻撃

方、気になる動きがある。それは、事件後、「補助金制度自身に問題がある」(梶山官房長官)という声が強まってきた。財界からも、「特養ホームの建設費の大半を補助金でまかなうシステムそのものに問題がある」(村田一・昭和電工社長)などの声が出ている。このことへの注意が必要である。国がゴールドプランで二十万人分を確保するとしているように、特養ホーム建設は国の責任である。それを民間にやらせながら、「補助金」と呼ぶ方が本来おかしいのである。問題は、その監督・監視である。国民の怒りを逆手にとつた福祉の「行革」、削減の動きには要注意である。(連合通信)



MRIの地域共同利用を推めたいと、杉原 信先生

# おねおねおしほす

74

## 杉原 信

先生の巻  
杉原整形外科クリニック

金沢市額乙丸町口153

白の箱形が病・医院の常識だった昔と違って、今回お訪ねした杉原整形外科クリニックも、曲線で大胆巧みにあしらった赤茶タイルのすてきな建物です。駐車場も広々として、緑豊かな金沢市の南郊外。土曜日の午後六時半、看護婦さんたちがあわただしく帰る支度をしている中を、医局に招かれて、まず驚く。部屋いっぱい所狭しと積み上げられた、医療と研究の資料の山。「今日は昼食抜きでした」と、杉原先生は苦笑される。一九九五年十二月のご開業だから、丸一年とちよっとだが、なかなかのご盛業らしい。

## 高度医療を地域でも

お忙しいところどうも。早速ですが開業された動機は？

【杉原】私は骨軟部の腫瘍

が専門で、金沢大学の整形外科教室に十三年間お世話になりました。その間に感じたんですが、最近の患者さんは高度医療への指向が強くなり、大病院へ集中します。しかし本場に緊急で大病院が対応すべき症例はそんなに多くない。なら大病院の外来部門だけを切り取って、その機能がある程度保った医療が、地域でもやれるんじゃないか？ そうすれば

## 日本海側で最初の遠隔画像診断

開業してみてもからのやりがいや、ご苦労は？

【杉原】やりがいは、大病院に近い程度の医療サービスが少ない待ち時間で提供できること、案外と若い患者さんが多く来てくれるんです。地域の人たちについて



スタッフの方々と一緒に

患者さんの待ち時間も短いし、丁寧に診てあげられると……

父が開業医だったので雰囲気は子どものころから知っていました。無床で出発したのは、スタッフ確保に不安があったんです。必要ならオープン・ベッドを利用すればいいと考えています。

父が開業医だったので雰囲気は子どものころから知っていました。無床で出発したのは、スタッフ確保に不安があったんです。必要ならオープン・ベッドを利用すればいいと考えています。

【杉原】はい。当院のMRI装置の地域共同利用を推進したいと思って始めました。のちほど遠隔画像診断についてのビデオをお見せしますが、当院から画像と臨床情報を東京の専門医に送信すると、すみやかに診断してワープロ打ちのFAXで報告してくれます。地域の先生方に利用していただける、患者さんにとっては、大病院受診に比べて距離的、時間的、経済的に大きなメリットがあると信じています。日本海側での稼働は、当院が最初で、現在までに十カ所以上の病・医院とネットワークを組みました。一度利用されると、その利便性をよく理解していただけています。通信用コンピュータとデジタル回線費用がネット

診療・経営での工夫の一つとして、私にもご案内

【杉原】それは、悪性腫瘍などの勉強が好きでして、毎日取り組んでいます。今年、ある腫瘍が電磁波照射で縮小・消失することを発見したので、ニューヨークで発表したいと考えています。(イタリアで受けたアワードなど、専門分野に及ぶと先生の話題は尽きない)



## くらしの風景 7つのまちがい



(解答は5面にあります)

## 新春クロスワードパズル 当選者発表

### 【答え】コトシモヨロシク

本紙新年号の新春クロスワードパズルに多数のご応募ありがとうございました。理事会で厳正な抽選を行った結果、次の10人の方が当選されました。おめでとうございます。

当選者には図書券2,000円分をお送りしました。

- 北浜 陽子 (輪島市)
- 北村 武子 (金沢市)
- 小林 孝子 (金沢市)
- 竹田 君江 (寺井町)
- 中出 裕美 (小松市)
- 野村 広居 (金沢市)
- 福田ひとみ (金沢市)
- 松本 睦 (寺井町)
- 水野 徳美 (金沢市)
- 焼田 直美 (金沢市)

## 昔はレーシングカー今は除雪車!?

【杉原】「趣味や健康法を顧みる暇がありませんね。」

「(杉原) そうなんです。医師になった当時から、レーシング・カーに凝ってチームを組んだり、少々危ない目にも遭いましたが、今は

【杉原】「趣味や健康法を顧みる暇がありませんね。」

最後に保険医協会や保険医新聞に対するご感想を聞かせてください。

【杉原】「保険点数の説明会がとても懇切丁寧で分かりやすく入会しました。約一年間、保険医新聞を拝見していますが、社会問題の記事が豊富で、たとえばエイズ被害への取り組みが素早く、熱心で敬服しています。」

【杉原】「お疲れのところ、ありがとうございます。これからも頑張ってください。(聞き手/安藤良一)」

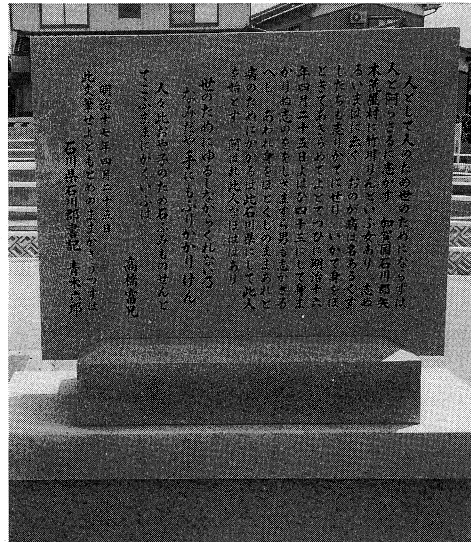
# 石川県医事文化史跡めぐり

<22>

## 石川県で最初の篤志解剖

——竹川リンの顕彰碑——

多留淳文(日本医史学会評議員)  
金沢市・内科



豊明湊神社(上荒屋3丁目)の広場に  
再建された顕彰碑

この顕彰碑は、旧本郷から新郷に移る途中、豊明湊神社の境内に建てられた。竹川リンの篤志解剖の功績を後世に伝えるため、直系の後裔、松江安臣氏は岸和田市に健在。実弟の陳孝氏は徳田家を次ぎ、鍼灸の名人であった。子息、徳田公一氏は、松任市徳丸町で鍼灸院盛業中である。

石川県で最初に篤志解剖を受けたのは、一八八三年(明治十六)四月二十五日、四十三歳で死亡した旧石川郡押野村矢木荒屋(金沢市上荒屋)住の竹川リンという女性である。(長岡博男「石川医報」二八三〜二八六号、一九六二)

死亡の翌日午後五時、同郡徳丸村(松任市徳丸一町)の私立松江病院において金沢医専外山林介教授の執刀指示で解剖が行われた。その翌年に建立された顕彰碑の表裏両面に、その間の事情が記されている。現在の碑は、その後二転三転して、一

九九三年、上荒屋三丁目、豊明湊神社前の広場に再建されたものである(写真)。この竹川リンの解剖結果は不明であったが、鎖不全、心嚢炎、肺水腫(死因)であった。また、同誌二八五号(明治十六年九月)には、

「北陸医史」六巻一頁、一九八五) 剖検診断した。かつて石川県の篤志解剖第一号は、一八八七年(明治二十)三輪照路とされていたが、名士第一号であって、通算では第三号となる。三輪照路は、本誌編集長小森貴博士の高祖父に当たる。

松江病院院長松江安臣の顕彰碑は、松任市東明小学校校庭にある。直系の後裔、松江安臣氏は岸和田市に健在。実弟の陳孝氏は徳田家を次ぎ、鍼灸の名人であった。子息、徳田公一氏は、松任市徳丸町で鍼灸院盛業中である。

### サイコロジカル・ショート・ショート

マインドコントロール編(その21)

## 玄人

大石ひろし

「このバックの、この部分の色がきれいですね」  
趣味で油絵を始めたころ、絵の先生は、私の絵の一部を指さしてそう批評した。不思議なことに、二十年たっても、この言葉を思い出しながら絵を描き続けている。

企業経営の相談を受け発展させる「企業コンサルタント」という仕事がある。このコンサルタントを集めた会社の社長、船井幸雄氏によれば、企業の欠

点を指摘して直そうとすると、ほとんどの企業はつぶれてしまう。長所を見つけて、それを伸ばせば、競争力が付き、年商は増えていくという。  
ところが、この長所を見抜くのが難しい。  
新入社員を連れて、経営相談を依頼された企業を見に行く。帰ってから、その社員に感想を聞くと、彼は必ずその企業の「欠点」ばかりを列挙する。「長所は？」と尋ねると全く答えられない。しかし、入社後十年ほどたつと、やっと企業の長所と短所が同じほど見えてくる。そして三十年もコンサルタントを経験すると、長所ばかりが見えてくる。他人の欠点しか見えないのが素人で、長所が見えるのが玄人だといふのである。

プロ野球の仰木監督が、近鉄時代に野茂の変速打法を長所として捕らえ、オリックスでは、イチローの変速打法を長所として伸ばさせたのは周知のことである。これこそ監督としての「玄人の技」と認めたい。  
相手の長所を見つけ、認め、信頼することは、良い意味での究極のマインドコントロールである。「士はおのれを知る者のために死す」

万が一の病気やケガに備えての安心プラン

## 第2休業保障

募集メ切迫る!  
(2月末日まで)

☆詳しくはパンフレット  
をごらん下さい。

- ① 最高保障月額300万円  
(従来の休業とは別に給付されます)
- ② 既往症があっても告知すれば他の疾病は給付
- ③ 掛金は法人負担で損金
- ④ 74歳まで加入可  
(75歳で脱退)
- ⑤ 掛金の20%が戻る  
(無事故の場合)
- ⑥ 団体割引で掛金が安い  
(個人で加入するより10%安い)

■お申し込み・お問い合わせは 有ヒポクラテスまで TEL 0762(22)5373 FAX 0762(31)5156

新刊案内

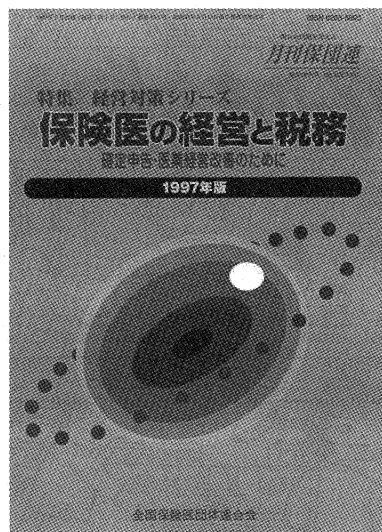
## 保険医の経営と税務

——特集：経営対策シリーズ——

確定申告のポイントや新規開業医と勤務医の税務対策を網羅した1997年版ができました。  
希望される方は、下記までお申し込み下さい。

●会員…無料(送料共) ●会員外…1冊1,500円(送料共)

●お申し込み・お問い合わせは協会事務局まで  
☎0762(22)5373 FAX0762(31)5156

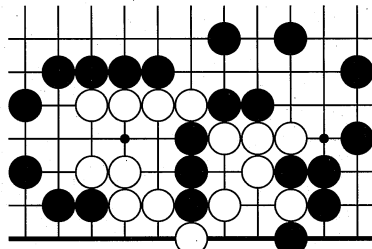


B5判・120頁

## 囲碁

■出題者  
七段 向井富治(金沢市・内科)

高村省三五段と乗岡栄一六段の対局に出来た形で黒番です。なんとか粘って手にして下さい。コウに持ち込めれば成功です。



(解答は2面)